

◇ ◆第31回 神経研夏のセミナー 受講者募集◆ ◇

(財)東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所では、若い研究者および公衆衛生・保健指導等に携わっている保健師を対象に、毎年、コース別に研修を行っております。皆様のご参加をお待ちしております。

◆コース及び日程◆

(1) 難病の地域ケアコース	平成17年7月11日(月)～7月15日(金)
テーマ「ALS等神経難病療養者の安全性と療養を支えるシステムの開発における保健師の役割」	
(2) 基礎・技術 コース	
テーマ1「神経病理の基礎と臨床」	平成17年7月19日(火)～7月22日(金)
2「脳を固める、切る、染める、見る」	平成17年7月11日(月)～7月15日(金)
3「培養神経細胞への遺伝子導入」	平成17年7月11日(月)～7月15日(金)

◆会 場◆

東京都府中市武蔵台2-6 東京都神経科学総合研究所

※ 駐車場はありません。また、昼食及び宿泊施設(遠方の方)は各自ご用意ください。

◆募集人員◆

(1) 難病の地域ケアコース 30名

(2) 基礎・技術コース ・テーマ1 10名程度 ・テーマ2 6名 ・テーマ3 若干名

◆費 用◆

各コースとも1テーマ 11,550円

◆申込方法◆

募集要項及び応募用紙は、当研究所ホームページからダウンロードをお願いします。

作成した応募用紙をプリントアウト・押印のうえ、下記までご郵送ください。

◆応募締切◆

(1) 難病の地域ケアコース 平成17年6月15日(水) 必着

(2) 基礎・技術コース 平成17年6月20日(月) 必着

◆受講者の決定及び通知◆

受講者あて文書で通知いたします。応募者多数の場合は、書面選考の上受講者を決定し、その旨を通知いたします。

詳しくは、神経研ホームページをご覧ください

<http://www.tmin.ac.jp>

◆応募先及び問合せ先◆

〒183-8526 東京都府中市武蔵台2-6

(財)東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所 調査係 担当：小口

電 話 042-325-3881 内線4102・4104

FAX 042-321-8678

E-mail [chosa@tmin.ac.jp](mailto:chosa@tmin.ac.jp)

第31回 神経研夏のセミナー

受 講 者 募 集 要 項

(基礎・技術コース)

財団法人東京都医学研究機構  
東京都神経科学総合研究所

当研究所では第31回神経研夏のセミナー「基礎・技術コース」を開催いたします。受講を希望される方は、下記の要領により応募してください。

## 記

### 1 趣旨

本セミナーは、神経科学の研究を志向する若い研究者・技術者を対象として、基礎的な実験と研究方法論の実習指導を短期間集中的に行い、神経科学の現状と将来展望について理解を深めることを目的とするものです。

### 2 日程及び各コースの概要

- (1) テーマ1 「神経病理の基礎と臨床」 平成17年7月19日(火)～7月22日(金)
- (2) テーマ2 「脳を固める、切る、染める、見る」 平成17年7月11日(月)～7月15日(金)
- (3) テーマ3 「培養神経細胞への遺伝子導入」 平成17年7月11日(月)～7月15日(金)

※ 講義内容等については、各テーマの概要をご参照ください。

### 3 会場

東京都府中市武蔵台2-6 東京都神経科学総合研究所(11項 案内図参照)

※ 駐車場はありません。

※ 昼食及び宿泊施設は用意しておりません。

### 4 応募資格

若い研究者が対象です。

### 5 募集人員

- (1) テーマ1 10名程度
- (2) テーマ2 6名
- (3) テーマ3 若干名

### 6 参加費用

¥11,550.-

(開講日に受付で現金により申し受けますので、釣銭のないようご用意ください。)

### 7 応募方法

別紙「応募用紙」(コピー可、必ず押印のこと)を、下記まで郵送してください。

「応募用紙」は神経研ホームページ <http://www.tmin.ac.jp> (催し物→神経研夏のセミナー) からダウンロードすることもできます。

8 応募締切

平成17年6月20日(月)必着

9 受講者の決定及び通知

17年6月下旬までに受講者あて文書で通知いたします。

応募者が募集人員を上回った場合は書面選考の上、受講者を決定し、その旨を平成17年6月下旬までに通知いたします。

10 応募先及び問い合わせ先

〒183-8526 東京都府中市武蔵台2-6

(財) 東京都医学研究機構 東京都神経科学総合研究所 調査係 担当:小口

電話 042-325-3881 内線4102・4104

FAX 042-321-8678

E-mail [chosa@tmin.ac.jp](mailto:chosa@tmin.ac.jp)

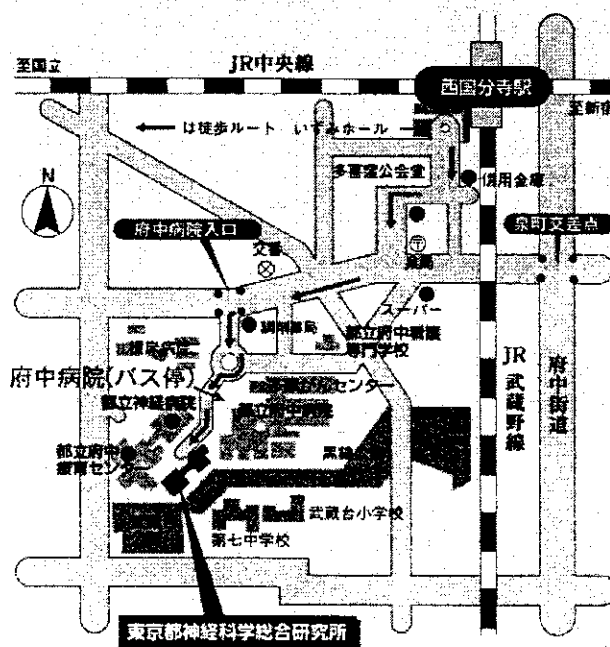
ホームページ <http://www.tmin.ac.jp>

11 会場までの交通機関

- JR 中央線・JR 武蔵野線【西国分寺駅】→ 京王バス府中病院行【府中病院】下車 (バス所要時間約5分)
- JR 中央線【国分寺駅】→ 京王バス府中病院行【府中病院】下車 ( " 約10分)
- JR 中央線【国立駅】→ 京王バス府中行、府中営業所行【府中病院】下車 ( " 約10分)
- 京王線【府中駅】→ 京王バス国立行【府中病院】下車 ( " 約15分)

★バス停【府中病院】から当研究所まで、徒歩3分です。

★JR 西国分寺駅から当研究所まで、徒歩20分です。



<p>テ ー マ 1      神経病理の基礎と臨床</p>
<p>セミナー概要</p> <p>ヒト神経疾患の病理標本の検鏡を通し、所見の見方、診断法、病態の理解などについて、基礎的なトレーニングを行う。対象となる疾患は、神経系疾患のほぼすべてのカテゴリーを網羅しているため、短期間の研修で最大限の効果を目指している。供覧する症例は当部門に登録された 1900 余例の中の代表的かつ教育的な症例であり、最新の染色法による標本の検鏡なども研修する。</p> <p style="text-align: right;">(募集人数 10 余 名)</p>
<p>講師名 (研究部門名) :</p> <p>新井信隆、小島英明、林雅晴、小森隆司 (以上、臨床神経病理研究部門) 水谷徹 (府中病院脳神経外科、当部門兼務研究員)</p>
<p>参考文献</p> <p>講義/実習に際してはハンドアウトなど資料が配布される。</p>

月 日	午 前	午 後
7月19日 (火)	総論講義 (新井)	肉眼観察と変性 (1) (小森)
7月20日 (水)	脱髄、炎症、発達障害、代謝、中毒など (林)	同左 (林)
7月21日 (木)	変性 (2) (小森、新井)	変性 (2) (小森、新井)
7月22日 (金)	循環障害、脳腫瘍 (小島、水谷)	同左 (小島、水谷)

テ ー マ 2 脳を固める、切る、染める、見る

セミナー概要：

脳の機能はその複雑な構造と密接に関連しています。分子生物学が明らかにした現象等をより正しく解釈、理解するにあたって、脳研究では形態的な視点がしばしば不可欠となります。脳の形態を観察する為の基本的技術を、全くの初心者でも習得できることを目指し、以下のことを本プログラムでは計画しました。

1. 各自に割り当てられたマウスを、なるべく特殊な道具を用いずに、自分で灌流固定し、包埋、薄切、染色し、検鏡できる標本を完成させる。
2. 免疫組織化学の原理を理解し、実技を通して基本的な手技を習得する。
3. ヒト剖検脳標本を供覧し、マウス脳とヒト脳の違いを観察する。
4. 複雑な画像技術への応用例（三次元観察、live imaging 等）を紹介する。

(募集人数 6名)

講師名 (研究部門名)：都立神経病院 水谷俊雄 (病理部長)  
 都神経研 石塚典生 (副所長、脳構造)、同 市川眞澄 (基盤技術部門長)、  
 同 小島英明 (臨床神経病理)、同 内原俊記 (神経病理)  
 同支援技術員 安食京子、植田弘子 (基盤技術)、海津敬倫 (脳構造)  
 江口弘美、菊地悦子 (臨床神経病理)、中村綾子 (神経病理)

参考文献

神経病理形態学 ミクロの世界へのガイドブック 水谷俊雄著 新興医学社  
 渡辺・中根 酵素抗体法 (改訂第4版) 名倉、長村、堤編 学際企画

月 日	午 前	午 後
7月11日 (月)	イントロダクション 講義：脳の基本構造 (仮題) 石塚典生 (神経研副所長、脳構造)	マウスの灌流固定 脳の取り出し、切り出し
7月12日 (火)	パラフィン包埋 講義：免疫組織化学の基礎と実際 内原俊記 (神経研 神経病理)	パラフィンブロックの薄切 浮遊切片の作製 免疫染色 (一次抗体の incubate)
7月13日 (水)	蛍光免疫染色 発色封入 講義：内容未定 市川眞澄 (神経研 基盤技術)	共焦点顕微鏡による観察
7月14日 (木)	パラフィン切片の染色 HE, Nissl, 免疫組織 (DAB)	マウス染色標本観察
7月15日 (金)	見学：ヒト脳の大切片標本作製 講義：三次元、四次元への応用の可能性 小島英明ほか (神経研 臨床神経病理)	ヒト脳標本観察 講義：ヒト脳にみられる病変 (仮題) 水谷俊雄 (都立神経病院病理)

<p>テーマ名3 培養神経細胞への遺伝子導入</p>
<p>セミナー概要</p> <p>神経細胞に外来遺伝子を導入することは転写活性解析、蛋白局在解析、機能解析等で有用である。培養神経細胞にリン酸カルシウム法、リポフェクション法、アデノウイルスベクター、レンチウイルスベクターを用いて外来遺伝子を導入する。</p> <p>興味のある遺伝子の組み換えアデノウイルス、レンチウイルスの作製（一部）も可能です。初心者の方も歓迎します。</p> <p style="text-align: right;">（募集人数 若干 名）</p>
<p>講師名（研究部門名）：</p> <p>岡戸晴生、三輪昭子（分子神経生理）</p>
<p>参考文献</p> <p>遺伝子導入発現研究法（ニューロサイエンス・ラボマニュアル2）</p>

月 日	午 前	午 後
7月11日（月）	遺伝子導入の概説 ウイルスベクター作製の概説	ラット脳から初代培養神経細胞の作製 ウイルスベクターの作製
7月12日（火）	リン酸カルシウム法、リポフェクション法、アデノウイルスベクター、レンチウイルスベクターによる遺伝子導入 ウイルスベクターの作製	同左
7月13日（水）	蛍光観察 ウイルスベクターの作製	同左
7月14日（木）	固定、抗体染色 ウイルスベクターの作製	同左
7月15日（金）	画像取得 ウイルスベクターの作製	総括

（講義内容は予定であり、変更することもあります）

第31回神経研夏のセミナー応募用紙 (基礎・技術コース)

平成 年 月 日

※ 応募締切 平成17年6月20日(月) 必着

希望テーマ (番号に○をつけてください)		1	・	2	・	3
フリガナ 氏名・印・生年月日		印 (昭和 年 月 日生)				
所属機関	所属名					
	所在地	〒				
		Tel:	Fax:		E-mail:	
連絡先	所属機関 ・ その他 (受講決定通知の送付先を○で囲んでください)					
	・その他の場合には、その連絡先を記入してください。					
	〒 住所					
	Tel:		Fax:		E-mail:	
		自宅 Tel:		携帯 Tel:		
学歴・職歴	年 月 日					
	年 月 日					
	年 月 日					
	年 月 日					
現在までの主要な研究活動テーマ						
同上の概要						
印刷物があればコピーを添えてください。						
テーマを選んだ理由と将来計画との関連						
過去の受講・応募の有無	第 回	受講・応募	第 回	受講・応募		
※右欄は記入不要	※受講採否 採 ・ 否		※氏名			

◆ご記入いただいた個人情報は、「夏のセミナー」応募用であり他の目的では使用しません。